

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【公表番号】特表2016-533346(P2016-533346A)
 【公表日】平成28年10月27日(2016.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報2016-061
 【出願番号】特願2016-518199(P2016-518199)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 C 0 7 K 7/04 (2006.01)
 C 0 7 K 5/10 (2006.01)
 C 0 7 K 5/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02
 A 6 1 P 43/00 1 0 7
 C 0 7 K 7/04 Z N A
 C 0 7 K 5/10
 C 0 7 K 5/08

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月25日(2017.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コレステロール誘発性ミトコンドリア機能不全を特徴とする疾患を患う対象を治療するために使用するための、治療的有効量の芳香族カチオン性ペプチドまたはその薬学的に許容される塩を含む組成物。

【請求項2】

コレステロール誘発性ミトコンドリア機能不全を特徴とする疾患を患う対象におけるカルジオリピン酸化を減少させることに使用するための、治療的有効量の芳香族カチオン性ペプチドまたはその薬学的に許容される塩を含む組成物。

【請求項3】

コレステロール誘発性ミトコンドリア機能不全を特徴とする疾患を患う対象におけるコレステロール誘発性シトクロムcペルオキシダーゼ活性を減少させることに使用するための、治療的有効量の芳香族カチオン性ペプチドまたはその薬学的に許容される塩を含む組成物。

【請求項4】

コレステロール誘発性ミトコンドリア機能不全を特徴とする疾患を患う対象におけるコレステロール誘発性構造損傷からシトクロムcを保護するために使用するための、治療的有効量の芳香族カチオン性ペプチドまたはその薬学的に許容される塩を含む組成物。

【請求項5】

前記芳香族カチオン性ペプチドが、 2 , 6 - D m t - D - A r g - P h e - L y s - N H ₂ (S S - 0 2)、P h e - D - A r g - P h e - L y s - N H ₂ (S S - 2 0)、及び D - A r g - 2 , 6 - D m t - L y s - P h e - N H ₂ (S S - 3 1) からなる

群から選択される1つ以上のペプチドを含む、請求項1～4のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項6】

前記塩が、酢酸塩、酒石酸塩、またはトリフルオロ酢酸塩である、請求項1～4のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項7】

前記ペプチドが、D - A r g - 2 , 6 - D m t - L y s - P h e - N H ₂ (S S - 3 1) を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項8】

前記疾患が、ニーマンピック病である、請求項1～4のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項9】

治療が、ニーマンピック病の1つ以上の症状を軽減または改善することを含み、前記ニーマンピック病の症状が、四肢を動かすことの困難（ジストニア）、脾臓及び肝臓の肥大（肝脾腫大症）、認知症、不明瞭で不規則な発語（構音障害）、不調和嚥下（嚥下障害）、転倒につながり得る筋緊張の突然の喪失（脱力発作）、振戦、眼を上下に動かすことの困難（垂直核上性注視麻痺）、運動失調、食欲減退、腹部膨満、血小板減少症、黄疸、疼痛、髄腔の拡大、皮質骨の薄化、寛骨の歪み、発作、眼内のサクランボ赤色斑点、ならびに睡眠関連障害からなる群から選択される1つ以上の症状である、請求項8に記載の組成物。

【請求項10】

前記芳香族カチオン性ペプチドが、経口、非経口、静脈内、皮下、経皮、局所、または吸入投与されることが意図される、請求項1～4のいずれか1項に記載の組成物。